



2020年1月9日

各 位

会社名 三光合成株式会社  
代表者名 代表取締役社長 黒田 健宗  
(コード: 7888、東証第一部)  
問合せ先 取締役常務執行役員 芹川 明  
(TEL. 0763-52-7105)

### 2020年5月期第2四半期連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年7月3日に公表いたしました2020年5月期第2四半期連結業績予想について、下記の通り差異が生じたので、お知らせいたします。また、2020年5月期通期連結業績予想についても修正いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

##### 1. 2020年5月期第2四半期連結業績予想値との差異 (2019年6月1日～2019年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	28,000百万円	1,200百万円	1,000百万円	700百万円	22円96銭
今回修正予想 (B)	28,876百万円	640百万円	351百万円	249百万円	8円18銭
増減額 (B - A)	876百万円	△559百万円	△648百万円	△450百万円	
増減率 (%)	3.1%	△46.6%	△64.9%	△64.3%	
(参考) 前期第2四半期実績 (2019年5月期)	27,733百万円	1,181百万円	1,032百万円	744百万円	26円04銭

#### 差異が生じた理由

売上高につきましては、日本、タイ及び英国での車両部品は減収となりましたが、米国及びインドでの金型並びに中国での車両部品の増収もあり前回発表予想から微増となりました。

営業利益につきましては、日本及び米国での車両向け新製品の立上げ準備費用 (品質検査費用に係る人件費、治具、消耗品費等) が予想以上に嵩んだこと、会社設立してまもない三光合成九州株式会社や武漢三樺塑膠有限公司について、受注量が予想を下回り稼働が本格化していないこと、日本、タイ及び英国での車両部品の減収による影響等の理由から640百万円となりました。経常利益につきましては、営業外費用にデリバティブ損失112百万円を計上し351百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は税金費用等を計上し249百万円となりました。

2. 2020年5月期通期連結業績予想の修正（2019年6月1日～2020年5月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	58,000百万円	2,700百万円	2,300百万円	1,500百万円	49円20銭
今回修正予想（B）	58,000百万円	1,600百万円	1,000百万円	700百万円	22.96円銭
増減額（B－A）	－百万円	△1,100百万円	△1,300百万円	△800百万円	
増減率（％）	－％	△40.7％	△56.5％	△53.3％	
（参考）前期実績 （2019年5月期）	55,146百万円	2,253百万円	2,065百万円	1,352百万円	45円79銭

修正の理由

第2四半期連結累計期間に記載しました、営業利益の差異要因の解消に今後も時間を要することから、通期の営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益について、前回公表しました予想を修正しております。

（注）上記予想数値につきましては、発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以上